

## 教育研究評議会議事録（第203回）

日 時：令和3年 6月24日（木） 15時00分～16時45分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、横山、宇佐美、八代、伊藤、上村、田代、宇塚、関野、境野、丸山、松岡、山本（昭）、鎌田、清水、長田、大石、船崎、村上、小藤田、山下

### 配付資料

- |     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 議題1 | 国立大学法人岩手大学 第4期中期目標・中期計画及び事業素案について（案） |
| 議題2 | 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について          |
| 議題3 | 教育学部附属学校改革案について                      |
| 報告1 | 令和2年度岩手大学監事監査実施報告について                |
| 報告2 | いわて高等教育地域連携プラットフォームの設置 について（報告）      |
| 報告3 | 教員人事に関する報告について（農学部）                  |
| 報告4 | 経営協議会報告（第76回）                        |
| 報告5 | 学長・副学長会議報告（第205回～第206回）              |
| 報告6 | 危機管理委員会議事録（第28回）                     |
| 報告7 | 令和3年度入試委員会（第2回）記録                    |
| 報告8 | 令和3年5月1日現在の在学生及び修業年数ごとの卒業・修了生の人数と割合  |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

### 議 題

#### 1. 第4期中期目標・中期計画の作成について

学長から、第4期中期目標・中期計画の作成について諮る旨が述べられ、藤代理事から、資料に基づき、前回の本会議での審議以後、「（前文）法人の基本的な目標」を追加し、各担当役員を中心に修正した箇所及び評価指標の根拠資料並びに6月16日（水）に行われた文部科学省との事前相談結果について説明があった。藤代理事から（教育研究）について、佐々木理事から～（業務運営等）について説明後、文部科学省との事前相談では、「評価指標」の「定性的な指標」は、第三者から見て客観的に評価できるような指標として欲しいとの指摘があったこと、本学の目標や評価指標の数は問題ないが、第3期と同様に、意欲的な評価指標への取組を高く評価することが検討されているとの報告があった。

さらに、本件は、文部科学省との事前相談結果及び本日の審議内容を踏まえて修正案を策定し、教員の人事計画に関わる部分もあるため、7月の学部長・研究科長会議、教員人

事会議及び教育研究評議会で審議していきたいとの提案があった。また、中期計画は「ビジョン 2030」の一部であるため、来週からは、アクションプランとロードマップの作成を執行部で進めて行く予定であるとの説明があった。

審議において、次の質疑応答が行なわれた。

- ・ 「リカレント教育」の定義をしたうえで、評価指標について再度検討する。
- ・ 「国際通用性のある研究力の向上を推進」について、国際共同研究や国際共著論文を増やすこと等を評価指標として挙げられないか、第3期の実績を調査して検討する。
- ・ 「事業素案」は文部科学省へ提出するものではないが、本学としての取組を構成員がわかりやすいように、具体的な魅力ある計画を書き込む必要があるのではないか。
- ・ 第3期の実績を指標の根拠とする際には、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることを考慮する必要があるのではないか。
- ・ 「女性教員の登用」については、研究力の向上だけでなく、教育面に関しても記載してはどうか。
- ・ 教員の採用等の方針は、「講師」の職位の件も含め、学部の状況を考慮しながら今後検討を進める。

審議の結果、7月末の提出に向けて、修正案の策定を進めることとした。

なお、学長から、第4期中期目標・中期計画の評価方法は、予算への反映の有無を含めて不明な部分が多いが、来年3月の最終案の提出まで修正を加えながら進めていくことになるとの付言があった。

## 2. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について

学長から、令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、各部局等へ内容の確認を依頼した結果、1か所修正があったとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、本会議終了後の役員会の審議を経て、6月末までに文部科学省へ提出することとした。

## 3. 教育学部附属学校改革案について

学長から、教育学部附属学校改革案について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から経緯について説明後、教育学部長から、資料に基づき、各校園のクラス数減と教員8名の削減について説明があった。また、教員削減のスケジュールは審議中であるが、生徒募集や学校側の方針の検討も必要であるので、夏明けぐらいまでには決定したいとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、今後、岩手県教育委員会等との調整を進めることとした。

## 4. その他

なし

## 報 告

### 1．令和2年度岩手大学監事監査実施報告について

監事から、資料に基づき、令和2年度岩手大学監事監査実施報告があった。阿部監事からは、本学の方向性「岩手大学ビジョン2030」と第4期中期計画の策定、年度計画の策定及び評価結果の共有化、執行部と学部との双方向性、全学委員会等の運営、公聴機能の強化、外部講師への依存、研究センター、教員評価及び危機管理などについて意見が述べられた。下田監事からは、学部のガバナンスの在り方、コンプライアンスへの取組み及び会計監査などについて意見が述べられた。

なお、阿部監事から、本報告書はサイボウズ・ガルーンに掲載したので、教職員からもご意見がある場合にはお知らせ頂きたいとの依頼があった。

### 2．いわて高等教育地域連携プラットフォームの設置について

藤代理事から、資料に基づき、いわて高等教育地域連携プラットフォームの設置について報告があった。

### 3．教員人事に関する報告について（農学部）

農学部長から、資料に基づき、教員人事について報告があった。

### 4．経営協議会報告について

### 5．学長・副学長会議報告について

資料のとおり。

### 6．危機管理委員会報告について

学長から、資料に基づき、岩手大学危機管理委員会（第28回）の審議内容について報告があった。

### 7．入試委員会報告について

### 8．在学生数と卒業・修了生数の状況について

資料のとおり。

### 9．その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の7月29日（木）の15時から開催することが述べられた。